**地域密着型サービス運営推進会議記録（第　2　回）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 施設名 | グループホーム花乃苑 | |
| 施設種類 | 認知症対応型共同生活介護 | |
| 開催日時 | 令和３年　7月　30日　　１０時００分　～　１２時００分 | |
| 会場 | グループホーム　花乃苑 | |
| 参加者 | 利用者代表 | 1人 |
| 利用者家族代表 | ０人 |
| 民生員 | ０人 |
| 高齢者お世話センター | ０人 |
| 市職員 | ０人 |
| 他事業所 | ０人 |
| 有識者 | １人 |
| 事業者 | 7人 |

|  |  |
| --- | --- |
| 報告事項  議題① | 1. 現状報告   **新型コロナウィルス感染症による感染予防のため、花乃苑グループの３施設の苑長・副苑長が出席し会議を行った。また、有識者としてコンサルタントの方にも出席をお願いした。**  ２．入居者数　　男性3名　女性14名　　(７/３０現在)  　《要介護別》　要介護１（3名）要介護２（5名）要介護３（8名）  　　　　　　　　要介護４（1名）要介護５（0名）    ３．入・退居者　(R3.5/28～R3.7/30)  　　　　　　　　6/14退去　男性　介護4　特養へ入所  　　　　　　　　6/30退去　女性　介護4　　　〃  　　　　　　　　6/21入居　女性　介護4　在宅より  　　　　　　　　7/ 1 入居　女性　介護2　病院より  ４．活動内容　　お誕生会　園芸（花苗植え）  　　　　　　　　菜園より野菜収穫  **「身体拘束等適正化対策検討委員会」**  現在、身体拘束に該当なし。身体拘束に発展しそうな不適切なケアはないか検討する。  〈検討内容〉  ・車椅子を使用されている利用者様が落ち着きなく立ち上がろうとされることがあり、「座って下さい」と言葉による抑制がある。利用者様は認知症のため尿便意を言葉で表現することが難しい。落ち着かない時は排泄に関連した場合が多い。  ・配膳後、副菜を食べやすい大きさにカットするため利用者様の目の前で器内にキッチンバサミを入れカットした。目の前で刃物を使うことで、利用者様に不快な思いを与えてしまった。  〈検討結果〉  日頃、何気なく行っている介助や言葉がけが、実は不適切な行為に該当す  る場合がある。職場全体で検討する機会を持つことに加え、職員一人ひとりが身体拘束防止を意識し、日々のケアの中での気付きや改善点等を報告することで、情報を共有し不適切なケアが常態化しないように努める。 |
| 議　題② | **「家族交流・地域交流について」**  コロナ感染対策のため面会は家族に限定し、面会方法についても時間や場  所の制限、ガラス越しでの面会等のご不便をおかけしている。以前は自由に家族との外出や外泊もできていたが、コロナ流行以降はしていない。ボランティアの慰問や地域行事への参加、町内の幼稚園との定期交流や近隣の介護施設との交流等の地域交流についても行えていない。７月中旬には入居者・職員全員のコロナワクチン２回接種が終了したため、徐々に家族や地域との交流を増やしていきたいと思っている。しかしながら、全国的にコロナ流行がみられ、徳島県においても再び感染者が増加傾向にあるため、感染対策をとりながら、交流の再開は慎重に行っていきたい。 |
| その他 |  |